

5/  
16

## スポーツの振興を目指して 令和元年度愛南町スポーツ協会の新役員が決定



御荘文化センターで愛南町スポーツ協会の総会があり、町内のスポーツ団体関係者らが出席して事業内容や予算等について審議を行いました。

役員（な）の選任（た）では、新会長に齋藤武俊（な）さんが選ばれたほか、常任理事に女性2人が新たに選ばれました。

齋藤新会長は、「少年少女の育成と、スポーツを通じた町外の人との交流を拡大していきたい」と抱負を述べました。

▶令和元年度の協会執行部・監事・常任理事の皆さん

後列左から今村勝範（な）さん、中尾重隆（な）さん、山田勇人（な）さん、藤井裕久（な）さん、西本淳一（な）さん、岡本光博（な）さん、尾崎宏之（な）さん、清水良一（な）さん

前列左から山本肖子（な）さん、増田智彦（な）さん、土居文洋（な）さん、齋藤武俊（な）さん、末廣秀司（な）さん、松比良恵子（な）さん  
（常任理事の浅野真二（な）さんが欠席）



勢いよく稚魚を放流する久良小の児童

久良漁港で久良小の全校児童がヒラメの稚魚1800尾を放流しました。参加した児童らは、「大きくなってね」「戻ってきてね」などと声を掛けながら次々とヒラメを海に放ちました。

6年生の松平大翔（な）くんは「今日の体験でヒラメがヌルヌルしていることが知れて良かったです。雨の中、たくさんの人たちに準備していただきありがとうございます」と久良漁協の方々にお礼の言葉を述べました。

5/  
28



愛媛CATV  
動画

### 久良小児童がヒラメの稚魚を放流



ゴミや流木などを拾い集めるボランティアの参加者

町の美しい自然や希少種生物を守ろうと、南宇和ライオンズクラブによる御荘湾・片の浜の清掃活動が行われました。

曇り空のもと19団体約140人が参加。海岸に落ちているゴミや流木などを回収し、2トントラック10台分を除去しました。

先生や友達と初めて参加したという福島寛才（な）くん（平城小5年）は、「思った以上にゴミが多くて大変だった」と感想を述べました。

6/  
1



愛媛CATV  
動画

### 御荘湾・片の浜で清掃活動

6/1 交通安全の意識を高めるために  
小学生の自転車安全運転大会開催



<優勝>城辺チーム  
左から梁瀬七々葉さん(6年)、鹿野魁星さん(6年)  
本田紗矢さん(5年)、鹿野利星さん(5年)

<準優勝>平城Aチーム  
光永晴生さん(6年)、井上直央さん(6年)  
宮山紗良さん(6年)、西川美希さん(6年)

<個人成績優秀者>  
1位 梁瀬七々葉さん 2位 宮山紗良さん  
3位 本田紗矢さん

平城小体育館で交通安全こども・高齢者自転車南宇和地区大会(主催 南宇和交通安全協会)が行われました。

この大会は、学科テスト、安全走行テスト、技能テストの3つの種目から成り、平城Aチーム、平城Bチーム、城辺チームが出場して競いました。

参加した平城小6年の西川美希さんは、「技能テストで、ピンのスラロームのハンドル操作が難しかった」と話し、同じく平城小6年の井上直央さんは、「今日までの練習を生活に活かされるようにこれからも頑張っていきたい」と話しました。

なお、大会上位2チームは6月22日(土)に松前町で開催された県大会に出場しました。



6/3

倉田満子さんが陶芸作品で受賞

御荘平城の倉田満子さんが、第72回創造展(主催 創造美術会)陶芸の部で会員賞を受賞しました。

倉田さんが出品した壺は、秋の風景や稲穂をイメージして約半年間かけて制作したそうです。

倉田さんは受賞について、「嬉しくてまた頑張ろうという気持ちになった」と話し、今後の作品作りについては、「次はもっと良いものを作りたいという気持ちが原動力」と意欲を見せました。



穂芒と題した受賞作品の壺と倉田満子さん

6/5

和泉淳子さんのマーマレードが金賞

第1回ダブルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会・プロの部(かんきつ1種)で、(株)カイユの和泉淳子さんが出品したマーマレードが金賞を受賞しました。

金賞は、大賞に相当するベストカテゴリ(1作品)に次ぐもので、応募のあった205作品の中からわずか21作品が選ばれました。

和泉さんは、「賞をとれると思っていなかったのが驚いたが嬉しい」と話しました。



河内晩柑を使ったマーマレードで金賞を受賞した和泉淳子さん

この他、男性のマーマレードの部で、愛南町出身の藤堂浅仁さんが愛南産河内晩柑でベストカテゴリ金賞を受賞されました。

愛媛CATV  
動画

## 6/4 完走したトライアスリートに贈ろう 船越小の全校児童が完走メダル製作



自ら製作した完走メダルを手に持つ船越小全校児童の皆さん

第8回愛南町いやしの郷トライアスロン大会で完走した全選手に手作りの完走メダルを贈ろうと、船越小の全校児童12人や教職員が協力して製作に取り組みました。

メダルには「完走おめでとう」や「おつかれさまでした」など、児童から選手への手書きのメッセージが書き入れられました。大会を前に池田寧々さん（6年）は、「選手の皆さんにはけがなく無事に完走してほしい」と話し、大会に出場する選手に対しては、「最後まで一生懸命頑張ってください」とエールを送りました。

なお、このメダルは6月8日(土)の大会当日、ゴール地点で待ち受けた同校全校児童や卒業生から完走した全選手に手渡されました。



6/6

愛媛CATV  
動画

## 6/6 下田勝重<sup>かつしげ</sup>さんが シイタケ栽培で受賞

県産干しシイタケの消費拡大やブランド力の強化を目的として5月29日(水)に松山市で開催された「第61回愛媛県しいたけ共進会」において、シイタケの品質を競う審査会があり、僧都の下田勝重<sup>かつしげ</sup>さんが出品したシイタケがほだ木育成の部で農林水産大臣賞を受賞しました。

平成25年度に続き2回目の受賞となった下田さんは、「大変ありがたいこと。後継者の育成に力を入れていきたい」と話しました。



シイタケの品質が認められ農林水産大臣賞を受賞した下田勝重さん

6/7

愛媛CATV  
動画

## 6/7 一本松小1年生が 池田牧場を見学

一本松小の1年生20人が授業で池田牧場第2牛舎（上大道）を訪れました。

児童は牛に餌やりをした後、畜産農家の池田一成<sup>かずなり</sup>さんから牛が生まれてから出荷するまでの話を聞き、牛の絵を描きました。嶋本純<sup>すみれ</sup>さんは、「牛がこっちを見ていてかわいかった」と話しました。

児童に対して話をした池田さんは、「食べ物や命の大切さを感じるとともに、少しでも畜産に興味を持ってもらえたら」と話しました。



池田牧場で牛の絵を描く一本松小1年生の児童

6/6・7 新しい元号を迎えて 町内の学校給食に  
平成ありがとう献立・令和おめでとう献立が登場



愛南町の学校給食では、時節や行事に合わせた給食を献立化しています。6月6日(木)・7日(金)は、元号が変わる時節柄に合わせた献立が企画されました。

6日(木)は〈平成ありがとう献立〉と題し、平成天皇がお好きであったと言われるカレーライスと、平成に流行したナタデココが入ったフルーツポンチの給食が登場。カレーライスには愛南町産のタマネギが使用されるなど、地産地消の推進が図られています。

一方、7日(金)は〈令和おめでとう献立〉と題し、お祝い給食でした。令和という元号は、日本で一番古い歌集の万葉集の「時に初春の令月、気淑く風和く」という梅の花について詠んだ歌から決められました。その由来にちなみ、ごはんは「梅ちりごはん」でした。

緑小の1・2年生7人の給食では、お汁の中にある紅白のはんぺんを箸でつまみながら令和の始まりを祝う楽しい給食となりました。



6/7

災害対策関連勉強会

地域の防災意識を高めようと、役場本庁で講演会（主催 なんぐん地域ケア研究会）があり、保健福祉・医療関係者ら約70人が参加しました。

社会福祉法人宇和島市民共済会もみの木から家田基行氏を講師に招き、西日本豪雨災害が発生した際の宇和島市三間町の被災状況などについて話がありました。

家田氏は、「災害発生時は住民主体の取り組みが必要」となどと話し、参加者は熱心に耳を傾けました。

この勉強会は毎月開催しており、次回は7月5日(金)です。



写真を用いて被災地の状況を説明する講師の家田基行氏

6/11

平城小で地域のボランティアが朝食提供

朝ごはんをしっかりと食べて一日を元気に過ごしてもらおうと、平城小で地域のボランティアが朝食をふるまいました。「光っ子モーニング」と呼ばれるこの取り組みは昨年12月に開始。食材も地域から提供を受けています。

この日は9人のボランティアと5人の教職員が朝6時頃から準備を始め、82人の児童が参加しました。3年生の小山颯友くんは、「みそ汁やきゅうりの漬物が美味しかった」と話しました。



子どもたちに食事をふるまうボランティアの増田淳子さん



愛媛CATV 動画